9月16日 金曜日 15日発行 昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社
THE NAIGAI TIMES
第3220号

天気予報

保守合同 自由党首脳協議
四者会談は続行
具体策 民主党議決定後に

…を図ることとしこの間四者会談を継続して民自両党間の話合を進めて行くことに意見が一致した。この首脳会議では石井幹事長から『十三日行われた四者会談について岸民主党幹事長から来月十日ごろ保守合同の党議をまとめてその後に新党結成準備会にうつりたいとの申入れがあり、これを了承した』と報告、各首脳もこれを了承した。

そして保守合同については民自対策委員会の『保守合同の時期明示』の申合せ、同組織委員会の『新党準備会切換』決議など合同促進の動きをも含め、十月十日ごろに行われる民主党の党議決定を待って具体化を進めることとし、この間の四者会談を継続して話合をすすめて行くことに意見が一致した。

鳩山初代総裁問題については、自由党としては既に解党・総裁公選の方針を明らかにしているので、この日はとくに話合いが行われなかった。

ついで佐藤氏から十四日午後軽井沢でラウレル比下院議長と日比賠償問題で会談したことについて『ラウレル氏は日比賠償については自由党の了解を得ねば協定の成立は難かしい。自分はマグサイサイ大統領から八億ドル案について自由党の了解をうるよう努力してほしいといわれてきたので、自由党の態度をききたいということだった。これに対し私からは自由党は目下八億ドル案を研究中であり、また自分としては、党の見解を明らかにする立場にないと答えておいた』との報告があり、これを了承、午前十時散会した。

【写真は自由党首脳会議（左手前から）池田、佐藤、大野、石井、緒方、松野、益谷、林の諸氏】

松本全権 十日内に帰国
日ソ交渉の中間報告に

…『時期』の帰国を了承し、時期については外…権は十日以内に帰国するだろう。マリク全権には再び赴任することになろうと』語った。

…の重要なカギといわれる問題について検討を行い、日ソ交渉全般の今後の進め方について重要協議を行う方針である。

なおこの日は谷顧問のほか杉原前防衛庁長官も首相を訪ね、松本全権帰国にともなう諸問題について協議した。

東独首相、あす訪ソ

【モスクワ十四日発AP＝共同】アデナウアー西独首相がモスクワを離れた十二時間後の十四日夜、ソ連政府はグロテヴォール東独首相がソ連政府首脳と両国間の諸問題について協議するため、十六日モスクワに到着すると発表した。

【ベルリン十四日発ロイター＝共同】ソ連政府の招請により十六日モスクワに到着する東独代表団はソ連政府に対し、東独出身の在ソ抑留戦犯ならびに民間人の本国送還に関する条約草案を提出するだろうと伝えられている。

グ東独首相

【ボン十四日発AP＝共同】ソ連が東独のグロテヴォール首相をモスクワに招請することは、ボンでは予想されないことではなかったが、ソ連の打つ手の早さにはやはり衝撃を感じている。ボンの観測筋はソ連東独会談でソ連が次のことを示そうとしているのだと観測している。

一、ソ連はアデナウアー首相との交渉によって東独の共産主義政権にたいする支持を放棄したわけではない。

二、ソ連側は西独政府だけが、全ドイツを代表して発言する資格をもつというアデナウアー首相の主張を容認するものではない

21日、自由党に説明
外相 対比八億ドル賠償案を

ラウレル・佐藤会談

来日中のホセ・B・ラウレル比下院議長が十四日鳩山首相との会見後、同日午後軽井沢の別荘で自由党の国会対策委員長佐藤栄作氏と会談、日比賠償問題について意見を交換したことが明らかになった。

重光外相は自由党代表と会見し、日比賠償問題について詳細に説明することになった。

根本官房長官は十五日午前自由党の石井幹事長に対し、二十一日午前十時から衆院議長室で会見したいとの外相の意向を回答した。この会見には自由党側から水田政調会長、津島、岡崎外交調査会正副会長が出席する。

ジグザグコース
日比賠償の責任

政界に台風シーズンがやってきた。岸民主党幹事長が鳩山初代総裁、緒方二代総裁の構想に切りかえたことについて、反合同を唱える自由党吉田派は『本心読めた』と猛烈な反撃に出るらしいが、このさい問題になるのは外交問題。その台風のひとつ日比賠償問題では国民がア然とするほどのバラシ合いをやらないとも限らない。

自由党内閣の手になる"大野・ガルシア仮協定"は四億ドルで手を打つことになっていたが、フィリピンのレクト派のぶちこわしで振出しにもどることになった。政界情報通によると、あのときレクト派のミッションが日本に来ていたのだが、岡崎元外相はこれに相応の"礼"をつくさなかったためだそうだ。遊船リベートじゃあるまいし、サンフランシスコ平和条約十四条に大筋が示されており、コミッション云々の問題でなく、正式な外交交渉で話が進められるはずだ。あの話はあくまでデマだと信じたい。

ところが、鳩山首相は日比賠償は八億ドルで話し合いがついており、これは岡崎元外相も、津島自由党外交調査会長も納得してくれているといった。岡崎、津島両氏とも色をなして否定したが、四億ドルといい、八億ドルといい、どちらにしても国民が払うもので、容易な額でない。国民にとっては四億ドルが適当で八億ドルが多過ぎるというのではない。払うものは払わなければならないのだが、一たん決まりかけたものが、ぶちこわされ、足元を見すかされて、その倍もの額を平気でOKしようとする心の持ち方がフに落ちないのである。前の場合にもこんどの場合にも、国民の目の届かないところでコチョコチョやっているという感じだが、これでは賠償を負担する国民がやりきれない。

自由党では八億ドル賠償の内幕を、民主党河野農相側近では四億ドル賠償御破算の楽屋裏を、それぞれ情報収集につとめているようだから、ひとたび火を吹けば面白いことになろう。国民はかえってそうなることを期待しているかも知れない。さもないと、どうも責任の所在が判らないからだ。（茂）

【写真は岡崎元外相】

米、フ国務次官派遣
東京で重要会談か

【ワシントン十四日発ロイター（ハリス記者）＝共同】ワシントンの権威筋が十四日明らかにしたところによれば、米政府はフーヴァー国務次官を極東視察に派遣することに決定した。フーヴァー次官は今月末本国を出発、日本、シンガポール、台湾その他極東各国を歴訪する予定である。フーヴァ…

粋人酔筆
今助と菊五郎

大久保今助は、寒中も法被（ハッピ）一枚という、水戸の渡り仲間（チュウゲン）だったが、富くじで当った金を芝居へ回し、歌右衛門で大儲けをして、江戸の長者番付へのせられるほどの金持ちになったことは以前にも一寸紹介したが、芝居はいつも一手の金主で、中村座と市村座を握り、他の資本家へは渡さなかった。ある年の顔見世、市村座は無人で、三代目尾上菊五郎の座頭だが、あとは二、三人しか目ぼしい役者はいない。それに引きかえて中村座は名優ぞろいの大一座、押すな押すなの顔ぶれだった。

市村座は、モウ狂言もきまったので、けいこに入っていた。そこへ出方が『京橋様のおいででございます』と触れる。一同お辞儀する。京橋様とは今助のことだ。京橋に住んでいたからだが、芝居にとって金主ほどえらい者はなかったので、大いに尊敬したのだ。今助は一段高いところへあぐらをかき、茶を一杯のんでから、

『ときに音羽屋、ちょいと相談があるんだ』

『ヘエ、なんでございます』

『知ってのとおり、この顔見世は、割振りの都合で、堺町はひどく大一座だが、こっちは大変な無人になってしまった。座頭の前で失礼だが、葺屋町のほうが負けそうに思う。両座の金主を兼ねているおれにとっちゃァ、どっちが勝っても負けても困るんだ。両方とも大入りにさせてえ。そこで気の毒だが、二番目だけお前に堺町へ行ってもらい、代りに三津五郎を、こっちの二番目へ出してえというおれの腹だ。どうだ、承知してくれねえか』

『掛持ちですか——そいつァご免こうむりてえね。目と鼻のあいだの隣り町へ行くんだから、なんでもねえとお思いでしょうが、そうじゃァありません。わっちのような短気者にゃァ、掛持ちとなると、気忙しくって、ヤキモキして、まともな芸ができません。どうぞこいつはご勘弁なすっておくんなさい』

『そうでもあろうが、お前も芝居で飯を食っている役者じゃァねえか。櫓（ヤグラ）が繁昌しなけりゃァ話しにならねえや。芝居を大入りにさせてえからこそ頼むんだ』

『櫓の繁昌は結構だが、それが荒びてしまっちゃァなんにもならねえ。菊五郎の芸を守るため、わっちゃァ掛持ちはお断わり申します』

今助の眉がピリピリ動いた。

『いやなら頼まねえ。ついでにお前の芸を守るため、この顔見世も休んでくれ——なんだ、ツイこのあいだまで米三郎で、生っ白い面で女や子供に、おべっかを使っていた奴が、座頭にまでなれたなァ誰れのおかげだ。あんまり大きな口をきかァがるな』

今助は水戸在の百姓の倅だから、今の茨城弁でタンカを切ったのだろう。菊五郎はまじりっけなしの江戸っ子だ。キビキビしている。

『なんだ。おれよりてめえこそ、昔を忘れやァがったか。十年前までは法被に白足袋の渡り仲間じゃァねえか。富くじで当った金を元にして、今のような大金持ちになったなァ、みんなこちとら役者たちが、はたらいてもうけさせてやったからだ。田舎者の成り上りめが、人間らしい口をきくない』

『なんだと、この野郎』

二人とも立ち上がったが、まわりの者にとめられてことはなかった。しかし菊五郎はそのため、江戸芝居をかまわれ、師走の寒空の中を、女房のお菊と弟子をつれて、伊勢の旅芝居へ出かけなければならなかった。菊五郎には、こういうことが三度あった。

『どうもおれはムカッ腹の立つ性分で、すぐ怒鳴りつけるもんだから、冬に向っておめえ達まで、こんな目にあわせてすまねえ』

『なんだねえ親方、あんな田舎者に楯をついてくれて、わたしゃそうれしいと思っているんだよ。そんなことをいっちゃァ恨みですよ』

それでも菊五郎は、三年目に江戸へ帰って来たが、帰る途端、すぐ七代目団十郎と喧嘩をしてまた劇壇に話題をまいた。

お道楽拝見②
鳥うち
自由党副幹事長 山口喜久一郎氏

○…山口さんの趣味の広さは定評がある。書画、骨董、園芸、スポーツ、碁、将棋、麻雀、鳥うち、各種コレクション等々、『政治家はネ、何でも浅く広く知っておく必要がある』というのが持論。

○…書斎全体が『趣味の部屋』で、書棚には『ランチュウの繁殖法』『蘭の手入れについて』といった本がズラリ。その横はジョニーウォーカーやコニャックの三十年、五十年ものの行列そのまた横は猟銃とゴルフ道具棚には陶磁器、筆、硯、墨のタグイ。机の上には目白がいい声で鳴いているが、これがまた各地で優勝した逸品ぞろいと来る。

○…これから鳥うちの季節で目下、鉄砲の手入れに余念がない。『秋空にぶっ放す気持は何ともいえないネ。鉄砲は三十年もやっていて、腕は確かなもんだ。おととし新潟で、二日で鴨を百五十羽とったよ』かつて間髪をいれぬ野次で鳴らしたのは鉄砲の呼吸らしい。鉄砲は全部で七挺、英国製のホーランド・アンド・ホーランド二連発を最も愛用している。（松）

地獄耳
抜けている 千葉代議士

ある場所（といっても衆院会館）に、代議士・非代議士が、六、七人集まり、談たまたま"千葉三郎氏は釘が一本抜けているか、否か"という人物批判に及んだ。たしかに抜けている。いや抜けていない。人間の本質はよい。根拠を示して積おうという説に分れた。

永田亮一氏は一見ボーッとして抜けているように見えるが、淡路島の旧家で、青嵐居士のセガレだけあり、本質のよい、シッカリ者なのだ。その永田氏がはじめは、千葉氏は抜けていない主張だったが、この頃"たしかに抜けている"説に変った。永田氏のキワメツケだから、優秀なヌケサクだ。大きな釘が足らぬよ。

そういえば今度台湾に行って"禁句"をいくら注意してもダメだった。千葉氏は昔から、中立系のグウタラ人間を集めて、メシを食うクセがある。"彼氏が集める人間を見よ、ナッチョランぞよ"と抜けてる説が圧倒的。介八郎広常（上総平氏）千葉常胤（下総平氏）以来八百年の旧族も、大釘が抜けては始末が悪かろう。用心召されよ。

市況
小巾もみ合い

地合は引続き堅調ながら大証券が複屈買の手を控えているので、全般の人気も引立たず市況概して小巾もみ合いの場面に推移している。特定株は朝方マバラ買が続いて全般にジリ高をたどり三越、平和不が一時新高値を切ったがあとともどり売におさえられていずれも前日値付近に保合。雑株は海運、水産、電機株の一部に緩慢な買気が続いて三円内外小確りであったが前日高の大丸が八円方反落したのをはじめ日鉄鉱、西武など品薄株や砂糖株の一部など三—五円方小安いものもかなりみられ、部分的には高下まちまちの場面。

▽高い株＝松下電、三洋電、多木製肥五円、日立工、東横デ四円

▽安い株＝大丸八円、栗本鉄五円、日鉄鉱、日陶四円

東京株式仲値
□新株落 △配当落
（15日前場終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
				倉レ	103	小西六	125
				旭化成	375	カボン	38
				山陽パ	117	三井物	190
特定銘柄		信越化	81	日本パ	112	第一物	135
東海上	272	東亜圧	132	国策パ	123	白木屋	240
郵船	68	昭電工	95	東北パ	133	高島屋	85
新三菱	83	日本曹	83	大東紡	100	日活	73
日新紡	276	旭電化	82	商船	50	松竹	201
味の素	281	三菱造	89	三井船	54	東宝	1310
三越	318	三井造	120	飯野海	58	大映	195
三菱地	499	三菱重	60	西武	360	日本粉	137
平和不	221	石川島	92	[illegible]	232	日清粉	160
		楠工	132	東京ガ	74	日本ビ	174
三井金	116	東洋ベ	110	東電	578	朝日ビ	185
三菱金	115	日立造	56	日銀	2030	キリン	207
日鉱	114	浦賀	53	東銀	59	宝酒造	105
住友金	120	日平	19	三井銀	70	台糖	262
三菱鉱	50	古河電	74	富士銀	88	明糖	137
古川鉱	84	日立製	74	日証金	89	甜菜糖	142
同和鉱	143	東芝	68	安田火	115	野田醤	293
住友炭	65	三菱電	94	大正海	102	森永	183
三井山	67	小松	51	住友海	—	明菓	190
北海炭	68	日本光	136	千代田	80	日水産	88
東邦亜	69	キヤノ	152	鋼管	79	昭和産	100
帝石	77	東京光	—	日製鋼	66	東洋醸	80
日石	115	東洋紡	150	八幡鉄	60	合同酒	143
昭和石	137	鐘紡	127	富士鉄	54	三楽	107
東燃	131	富士紡	113	神戸鋼	55	大阪糖	170
三菱石	132	大日紡	88	日特鋼	115	王子紙	221
大協石	131	日東紡	62	日軽金	207	十条紙	241
日東化	84	片倉	39	日金工	69	本州紙	91
日産化	75	東邦レ	112	日セメ	157	三菱紙	89
三菱化	97	帝麻	46	磐城セ	260	北越紙	61
三井化	112	中繊	49	小野田	90	三井不	806
協和醗	118	帝人	145	横浜ゴ	153	三井倉	88
東合成	126	東洋レ	190	旭硝子	156	渋沢倉	80
三共薬	174	三菱レ	128	富士写	143	東洋埠	186

人形が着るとピッタリよく似合い 城東 浩界坊
農作にカタログ取って見たくなり 文京 木村いつ秋
三助に亭主の知らぬ肌があり 市川 上田将風
葛飾 粘すゝき
右側を連れた子供に教えられ 江戸川 比佐緒
金づまり氏はとっくに新生活 目黒 山下胡水

内外抄

マリク全権がまたも中座する。シビレを切らしている松本全権も発ちたくなろう。帰って来給え。

◇

砂川問題は案の定条件闘争へ。騒いでも結局はこの一手。ピケよりこれに腰を据える方が賢明。

◇

A級戦犯の小出しも結構は結構ながら、B級よりお先に御免ではどちらもツライ話。

◇

米・中共会談の拡大を要求する中共、ダレス長官を引き出しても台湾問題は見込みないね。

◇

お義理で出来たような『年寄りの日』お義理でも年寄りを大切にしましょうや。

青春無宿 (129)
大林清 作　下高原健二 画

誤解（二）

光代もその時、真弓の肩越しの闇の中に、寝床の上で人の動くのを見たような気がした。男だと直感したし、ひょっとしたら菅野かも知れないと思った。

そう云えば、浴衣の胸もとをはだけた真弓のからだからは、女でさえ息苦しくなるような色気が発散しているようだった。

『ほんとよ、あなたさえよかったら泊ってってもいいのよ』

死を前に燃ゆる愛欲

『乳房よ永遠なれ』から拾う中城ふみ子

子供も世間もすて 病いの身体を捧ぐ

青年歌人と綴る三週間

薄幸の歌人追憶

五月四日、札幌から一日二本しかでないバスに、揺れるに任かせてひとりもの思いにふける白皙、長身の青年がいた。バスを降り立った彼は横なぐりに吹きつける雨と風をまともにうけながら、支笏湖を目指して黙々と歩を運んだ。見馴れない、しかもこの嵐をついてやってきたこの客はバスの車掌から自殺志願者とさえ疑われた。湖についた彼はポケットから一冊の本をとりだし、それをハンケチに包み、石を結えつけて祈※

※るように湖に投じた。本の名は近く映画化される『乳房よ永遠なれ』のそれであった。湖面の波紋がおさまっても凝然と立ちすくむ彼の胸中には死に臨んで母として生くべきか、女として生くべきかに悶え苦しみつつも、ついに女として生きることに喜びをみ出だし、悠揚として死についた〝薄幸の歌人、中城ふみ子〟さんへの追憶が新によみがえるのであった。

【写真は在りし日の中城ふみ子さん】

五月もはじめのころ『少年死刑囚』を手がけたプロデューサー児井英生氏は信州ロケのため上野発列車に乗り込むと、前夜銀座でふと眼についた『乳房よ永遠なれ』を一読したあと、なにもいわずに向い合って座っている田中絹代さんに『これ読んでご覧なさい』とさりげなく手渡した。『何かしら……』と不審のおももちでうけとった田中さんはページの進むにつれ瞳が異様に輝きだした。やがてロケも終り、帰京の車中田中さんは『私にこれやらして戴けませんかしら』と申出た。もちろん映画化の監督をみずから買ってでたわけだ。帰京後、映画化の話はトントン拍子に進み監督田中絹代、脚本田中澄江とスタッフも決まり、日活作品として十月末を目指して完成を急いでいる。

田中さんがこれほどまでに感動した『乳房よ…』のヒロイン中城ふみ子さんとはどんな女性だろうか？　そして、彼女を語るには、死の床に病める彼女と三週間起居をともにした第三の愛人とのつながりをも合せて語らねばならない。その愛人とは嵐の日、支笏湖へ足を運んだ白皙の青年であり、『乳房よ……』の著者でもある新聞記者若月彰氏(三〇)その人である。

中城ふみ子さんは帯広市に呉服商を営む野江家の長女として生れ、無邪気でわがままな幼女として育って行った。だが反面、非情の独占欲にも敏感な子供でもあった。彼女は昭和十八年、二十才のとき北大出身の中城博氏と見合結婚した。当時は人も羨やむ円満な夫婦とみられたが、この幸福は長くはつづかなかった。博氏は室蘭鉄道出張所長時代に収賄問題を起して四国の高松市に左遷され、挙句のはてはアドルム中毒になり、ふみ子さん以外の愛人までもつようになった。このためふみ子さんはついに意を決して三人の子供を連れて帯広の実家へ帰った。短歌をはじめたのもこのころで、夫を待ちつづける淋しさを短歌に託してわずかななぐさめとした。

その後、孤閨に悩む彼女は、短歌グループ〝新墾〟の同人大森卓氏を第二の愛人として得たが、彼もまた胸を病んで若くして去ってしまった。ちょうど第二の愛人に死別してから一年目、傷心の彼女に襲いかかった病魔があった。乳がんである。早速札幌医大がん病棟に入院、女の生命ともいえる二つの真っ白い乳房を取り去ったが、病魔はさらに肺をも侵かし、医師からは死の宣告をうける身となった。昨年六月のことである。この間にも彼女は執ようなまでに歌をよむことに精進し、毎夜三十度の高熱にうなされ乍ら『死にたくない』と身もだえしていたころふみ子さんの処女歌集『乳房喪失』が東京で出版され、異色ある題名とともに彼女の名も歌壇にクローズ・アップされた。

『乳房よ永遠なれ』の映画化を打合せる（右より）若月彰氏、田中絹代さん、中城さんの母堂野江きくゑさん

どっと高まる情熱

拒み切れなかった若月氏

短歌評論家でもある若月氏がこの本を手にしたのは七月のはじめだった。一読した彼はその夜眠られぬ程の感動を覚え、生きているうちに彼女と会いたいと七月五日、夜汽車に身を託して北海道へ渡った。『乳房喪失』の続編ともいうべき『乳房よ　永遠なれ』の体験はこうしたキッカケからはじまったのである。

明日をも知れぬ生命をもちつづける病人との異様な三週間の生活。その間にも二人の胸に通う情愛は日一日と深まって行った。『あたし、支笏湖へ行きたいの、どうしても行きたいの。若月さんあたしの代りに行っていただけない？』こんなことを訴える彼女でもあった。

しかしそういいながらも、三人の子の母として生くべきか、あるいは女として生くべきかに思い惑う彼女でもあった。彼女のこうした心の葛藤が若月氏にも反映して、夜を恐れる気持をもつようになった七月二十二日、ついに二人の激情をかきたてる日がやって来た。この日の情景を『乳房よ永遠なれ』から拾ってみよう。

私は電灯を消した。それから一時間も経ったであろうか……。眼の前の闇の中にぽーっと浮かぶ白いものを見た。私ははっとした。『どうしたんだ、ふみ子さん』彼女は寝巻姿のふみ子さんである。無言のまま倒れるように私の布団の中へ横になった。

『起きたりしちゃ身体に障るじゃないか』『いいの…』押しかぶせるように彼女がいった。『黙って…お願い、このままにしといて…』闇が二人を押し包んでいた。沈黙はつづいた。不意に彼女が身を動かした。『ね、わたしを…抱いて。ね、抱いて…』彼女の腕が私の肩にまとわりついた。答えはなかった。『いけない、君は病人じゃないか』右肩の上にぐっと彼女の体重がかかってくるのを感じた。平面な彼女の胸が私の胸にぴったりと触れていた。足を掴んできた。『そんなことをしてあなたは死んでしまう…』私は警告めいた言葉を発した。『いいの、もう死んだっていいのよ…』喘ぎあえぎいいながら彼女の腕が、頬が、唇が、腰が、足が、私のからだ中にまとわりついてきた。——感情が潮のようにどっと高まった……。

若月氏が帰京したのはこの激情の嵐が吹いた日から三日目であった。別れに臨んで彼女はいつものような駄々はこねなかった。それは母としてよりも、女として生きることの喜びを、若月氏によって得たのちの満ちたりた幸福感からであったろうか……。彼女はそれから一週間後永遠の眠りについたが、三十一才の若さで死んだ情熱の歌人中城ふみ子さんの死は、妻と母と女のジレンマに悩む世の多くの女性に、喜と映じ、あるいは赤と映ずるシグナルであることを訴えずにはおかない……。

奇習珍聞　メキシコ

囚＝人＝の＝赤＝線＝通＝い

世界中のどこの国も、囚人の性問題に関しては、ひどく頭を悩ましている。が、娑婆にあってもうまくはいかない性問題が、刑務所の中で理想的にいくべくもあるまい。それでも外電の報ずるところによると、平和都市ジュネーヴでは、このたび囚人の性生活問題について熱心な討議が行われたという。

その際、世界の各国でとられている囚人の性処理が参考までに検討されたが、たとえば南米チリなどは、囚人に日をきめて、妻や恋人などとの寝室面会を許しているそうだ。しかしこうなると、タダでメシをくわしてもらって、もよおした日には妻にでも恋人にでも会わしてもらえるのだから、いっそ一生刑務所ぐらしをしようなんて不心得者が続出するかもしれない。

ところで、ここに驚くべきはメキシコの習慣である。力道山と決闘した猛牛レスラー、オルテガ氏の故国メキシコは、なるほど血の気の多いお国柄だけあって、囚人に対しても、まことに驚くべき、いや羨ましい限りの処置が講ぜられているのである。

というのは、メキシコでは囚人たちをまとめて引率して、看守が女郎買いにつれていくしきたりなのだ。ちゃんとした遊廓というか赤線地区というか、そこへゾロゾロと囚人の一隊が日頃のウップンを晴らしに行く。なんという粋なお上のおぼしめしであることか。どうせ悪いことをするならメキシコでと、これをきいたら世界中の悪漢どもが、メキシコへ殺到するかもしれない。（作）

風流世界譚　…（アメリカ）…

なにごとも宣伝時代というわけで、レストランの経営者オブライエンが素晴しい思いつきを考え出しました。人間の体温でガチョウの卵をかえし、そのヒナドリの肉を客に食べさせようという算段です。そしてその温め役にパトリシャという、十九になるウエトレスを名指しました。温め方というのは、卵を十コ、椅子のシートの下に入れ、その上に二十九日間座り通し、彼女の下部で温めるわけですが、問題はその場所を離れるのが毎日ただの四分間に限られている点です『それじゃトイレに行くのがやっとね。辛いわ』パトリシャは気乗り薄です。『いや、ただ座っていさえすれァいいんだよ。座ってできることなら何をしたって構わないんだから』オブライエンはやっと口説き落して、珍妙な卵がえしがはじまりましたが、やってみると十日も早くヒナがかえったので不思議に思っていると、彼女、おずおずと、『だって、椅子の上でなにをしたって構わないっていったでしょ。だからあたし、毎晩彼氏にも温めて貰っていたんですの』

秋の味　鯖

『秋鯖は嫁に食わすな』といい、秋茄子もまた嫁に食わすなという古い諺がある。これを嫁いびりと解すれば、それほどにウマイものであることを、この古諺が表現してるのであろう。さほどにウマイのが秋鯖だ。産卵後の夏やせが回復して脂肪がのり切った今がシュン。

新鮮なヤツを三枚におろして、腹側、中骨をぬいて塩をふり、二、三時間おいたら皮目を上にして酢につけ軽い重石を乗せる。霜がおいたように表面が白くなったら、酢で塩を洗い、セロハンのような皮をむいて刺身にして生姜醤油で秋の夜の酒肴のナンバーワンだ。

大阪のせんば汁は一塩の鯖と短冊に切った大根の大吸物でいわば鯖のウシオであろう。京のバッテラは鯖ずしの逸品で、にぎりずしの鯖はまた独特の風味である。よく鯖のいきぐされと敬遠されているが、モウこの悪名も返上せねばなるまい。なぜなら鮮魚の取扱いかたが昔より進歩しているからである。（品川居）

え・島村舜児

モダン歳々記　風流稲妻強盗

明治二十八年九月十六日、北海道樺戸集治監を脱走した二人の囚人が柿色の獄衣を着たまま厚田町に姿を見せた。

その一人がのちに稲妻強盗としてその名をとどろかした坂本慶二郎である。

彼の脱獄は三度目で、当局でも彼の両足に一貫目ずつの鉄丸を一つずつつけ、胴には革皮を締め、これにも一貫目の鉄丸をつけた鉄の鎖をさげさせていたのだが、一週間前の十日に同囚伊沢亀吉と連鎖で外部の土方工事に出ていると き、丁度この朝は霧が深かったので、これを利用し、看守のスキをうかがって脱走、山中で連鎖を石でたたき切り『何のその思いは晴れし今朝の霧』とよろこび、食うや食わずで厚田町まで逃げてきたのであった。

それから年末に故郷の茨城県に帰っていたが、ピストルを入手し茨城、千葉、埼玉を主とした怪盗の活躍となり、殺人、傷害、強盗、強姦等約五十件の犯罪を重ねたのである。明治三十二年二月、彼は浦和で捕えられ、翌年二月絞首台に上ったが、『予て散る花と思えば知りつつも、今日の今とは思わざりけり』ウタかヌタかわからぬものを詠んだ。昔は強盗も風流だったものか。（鮭）

東海毒婦伝　青とかげ (70)

野沢純　土端一美画

蔵の中（十一）

『ああ、ひでえ目に遭ったぜ、こうなっちゃァ仕方がねえ。何もかもがグレハマだ。せめては、お店の縁の下へ、埋めておいた二千両だけでも、何とか活かして担ぎ出さざァなるめえよ』

お直を前に、そういったのは番頭島蔵。

土蔵の締め木を食って以来、言葉つきまですっかりやくざになっていた。

『それにしても、坂崎源十郎とかいう浪士の野郎、いめえましい奴だ。此方はすっかりお手あげじゃアねえか、くそ、面白くもねえ。おう与っちゃん、こうなりゃア仕方がねえ。あとにあるのは、二千両運び出しの一作だ。片棒担いでくんねえよ』

『だが島どん——あぶねえ橋だぜ。あれ以来、お上の目も光っているぜ』

と与次郎は、先夜の追われを思い出して、ぞっとしたような顔をするのへ、

『どのみち、あぶねえ橋を渡らねえ事には、どうにもなるめえ。なア お直』

腰を据えた格好で、島蔵はここまで来ると、もう大っぴらだし、すっかり悪党になりきっていた。

『それにしても、ゆうべからえらく疲れた。おう、お直——少し寝ようじゃァねえか』

——尾張屋へ押入って、巨万の財を掠め去った強盗一味の背後に向って目くばせをする。

伊予松の背戸の庭に、白壁の土蔵が一棟——その二階がさし向き、お直と島蔵ふたりが当座、世を忍ぶ仮のねぐらにあてられた。

横山町のあいびき場所が蔵の中。油問の本宅で、とじ込められたのが蔵。そして今戸の里が蔵の仕儀は、よくよく蔵には縁がある。料亭の控え蔵なりに、中にしまってある物といえば膳や小鉢や、皿のたぐい——それらが棚にぎっしりと積み込まれてある。

階下は板敷、二階が畳。

畳はわずか四畳半でしかないが男女ふたりの起き伏しに事を欠かない。

先夜、与次郎が捕吏に追われたためしもあるから、用心して二人とも外へは出ない。

店の方へは客がある。

いきおい背戸の蔵の中に膝つき合せているからには、日毎夜毎に行う事はきまっている。

枕絵にある『年中行事』をそのままに、朝でも昼でも、刻なぞ構わず情痴をつくして縄のように絡み合う。

誰の胤かはともかくも、お直の腹にはもう、三月児が宿されて、白い下腹にそれとないふくらみが兆しているのに、それでも閨房の仕儀は、夜昼なしに続けられた。

に、後婆のお直が加わっている事が、番兵衛の訴えによって明らかにされ、

『それ！』

と召捕の手配が張りめぐらされた時も、お直と島蔵は蔵の中で、情痴の限りをつくしていた。

今戸の里に隠れているのを、探り出されて、捕手が向って行ったのが、安政二年の十月二日。

夜廻りの打つ拍子木が、チョンチョン、チョン、チョンと四つ（十時）を知らせたのを合図のように、突如起った大地震だ。

はじめにグン！と突き上げた——と思うと次の瞬間、津波のような地鳴りと共に、グラグラと来た。

お直と島蔵が絡み合って、閨房秘戯の真っ最中である。

（地震だ！しかも大きい！）

と気がついた時、膳や皿小鉢が、棚から崩れ落ちる音がして『あっ！』と云う間もなかった。

続いて起る大動揺に、二人は折り重なったまま、何十貫と云う重い梁の下になっていたのである。

あすの運勢　高島象山

＝九月十六日＝

▲一月生－小事は調い大事は破る何事も消極的に活動して順調なり

▲二月生－油断と怠慢より失敗を招来し損失あり婦人は痴情起る也

▲三月生－人気もあり信用もあり商業繁昌する起業開業移転結婚吉

▲四月生－何事も素志の貫徹に努力し他意なく努力すれば順調なり

▲五月生－内外共に不満あり不平あり気迷うも控え目に時を待べし

▲六月生－明朗にして順調に進展し利達栄昌あり改革異動はよろし

▲七月生－主義をまげず理想的方針を遂行して目的叶うも苦労あり

▲八月生－何事も進退不断明に陥り上下の信を失うなり異動は悪し

▲九月生－気運好転して愈々隆盛に至る商人は利多し上位の引立有

▲十月生－業に進まず家庭に和し繁く失望起る酒色の道を慎むべし

▲十一月生－物事に突発的事故が起り易く悩みごと多し控え目よし

▲十二月生－気運順調で利達あり現実的に努力し効多し結婚は大吉

ラジオ・プログラム

16日（金）

★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
朝 7・45 朝の訪問 世界ノンプロ野球日本代表 牧野直隆 / 8・05 エウイット管弦楽団の室内楽 / 8・30 年の功亀の甲② 中沢弘光 / 10・15 わが家のリズム / 11・15 赤いサンダル 楢村治子	7・30 経済政策論 修正資本主義 気賀健三 / 8・30 リスト ⑥パガニーニ練習曲 ピアノ独奏ケンプ / 9・30 唱歌 牧場の朝 / 10・15 月世界探検 / 11・00 仲よしグループ / 11・45 柿本人麻呂②	8・35 花ふたたび / 9・05 チヤッカリ夫人 夫婦といえども敵味方の巻 / 9・45 秋祭 中島健蔵 / 10・15 名作アルバム 女中ッ子② 堀内敬子ほか / 11・15 ママの読書 夏川静江 / 11・35 ベニーグッドマン楽団	7・30 三枝錦とその楽団 / 8・25 おしゃべりレディ 楠トシエ / 9・30 青春のあるところ 杉葉子ほか / 10・00 ハモンド 渡辺弘 / 10・40 君ひとすじに / 11・35 東京の人 杉村みき子	8・00 サザエさん 東野英治郎 / 9・00 お笑い一家 戸川暁子 / 10・00 やりくりチヨ子さん 左幸子ほか / 10・30 奥様お茶を / 11・00 悦ちやん 芥川比呂志 / 11・35 歌謡曲
昼 0・30 ①狙われている私 てんや わんや②電話室 鈴々舎馬風 / 1・05 婦人の時間①マイク片手に 藤倉修一②コーラス③座談会 原子力とは / 2・05 長唄 茨木 芳村伊千三郎 杵屋栄左衛門 / 3・15 夕日武者 A.K.劇団 / 5・30 淋しい時は 楠トシエ	0・30 ヒットメロディ・ショウ ビンボーダナオほか / 1・15 交響曲の時間 / 3・00 おやつの時間 / 4・00 リズム・アワー / 4・30 大相撲秋場所を前にして② / 5・00 シユタフオンハーゲン弦楽四重奏団 ブート作曲五つのバガテル	0・15 リズム・クラブ / 0・30 落語 三遊亭円遊 / 1・30 母と子の部屋 / 2・05 アメリカ映画 泥棒成金 双葉十三郎 / 3・40 雪解 中村正 / 4・05 長唄 月の巻 杵屋佐登代 福子 / 5・15 ドラマ リボンの騎士 / 5・30 父をたずねて一万キロ	0・00 司会 痴楽①半ほめ 小円馬②赤いハンドバッグ下げて 泉友子 / 1・00 人物論 有島一郎 / 2・00 婦人の時間 敬老週間に因んで 憩いのホーム / 3・00 東京マンボ・オーケストラ / 4・10 コンサート・ホール / 5・30 僕らの広場 つみき座	0・00 深川裸祭り 港家小柳丸 / 1・00 劇 さわやかな朝風 吉川みよ 松島和子ほか / 1・50 女神 高橋博 / 2・00 録音構成 さんま漁解禁日にちなんで / 2・30 アメリカ文学 ヘンリー・ジェイムス作 ねじの回転 荒木道子 山崎久乃
晩 6・00 ジヤンヴアルジヤン物語 / 6・25 オテナの塔 / 7・30 歌の展覧会①歌 奈良光枝②朗読と音楽③あの歌④音楽劇 河野ヨシユキ / 8・00 浪曲 おせん 芙蓉軒麗花 / 8・40 日本の町 本庄町 地元連中 / 9・15 三好十郎作 やかましい人 関口宏三ほか / 10・15 おかめ八目 / 10・40 コールポーター作曲集 独唱 栗本尊子 東唱	6・40 この頃の科学ニュースから 相島敏夫 / 7・00 名曲鑑賞 チヤイコフスキー作曲 弦楽夜曲 / 7・30 歴史の窓から 黒い怒涛 ニグロ解放運動史 最終回 西野照太郎 木島始 / 8・05 座談会 放射能と日本の産業 安芸皎一 三井進平 崎川範行 / 9・00 リサイタル ピアノ独奏 田中希代子 / 10・00 NHK高等学校講座 / 11・05 医学の時間 血痰と喀血 北本治ほか	6・25 私が買いましょう / 7・20 唄ごよみ 市丸 / 7・30 エンゼル・タイム 有島一郎 華声 新倉美子 / 8・30 歌のカーニバル 石井亀次郎 小松里子 / 9・10 東京キューバン・ボーイズ / 9・30 リレー・ドラマ ガラスの青春 芥川比呂志 有馬稲子 北原文枝ほか / 10・15 唄の四季 山口こう 端唄 俗曲 / 11・10 長生きの秘訣 奥野信太郎 糸川欣也 田辺尚雄	6・00 少年宮本武蔵 松本克平 永井智雄ほか / 6・10 すずらん太郎 小園蓉子 / 7・10 新版浦島時記 サトウハチロー 松田トシ / 7・30 東京キユーバンボーイ / 8・00 歌謡学校 古賀政男 霧島昇ほか / 8・30 のど自慢二つの歌 阿里道子 豊寿 / 9・00 テイチク・アワー / 9・30 ①湯島の白梅 ヒットマスミ②恋の新宿 円右 / 11・00 一刀斎は背番号6	6・00 ポツポちやん物語 消しこの夜 劇団 東芸ほか / 6・15 少年探偵団 / 6・30 ゲーム 夫婦善哉 蝶々 雄二 / 7・30 親子演芸会 リレー講談 真柄のお秀 貞丈 貞花 / 8・00 東西演芸会他流試合 千葉信男 森光子 / 8・30 ダイハツ・アワー ミスターWミスM子③堺駿二 / 9・00 女の瞳 天津羽衣 / 10・00 南無三宝 伊志井寛 / 11・00 スポーツ・カレンダー

行き過ぎた身体検査

女高生採用試験に"婦人科診察"

強引な立会医師 いやがる受験生を裸同然に 学校、父兄ら大憤慨

来春高校を卒業する生徒たちの就職試験がはじまっているが、先日農林中央金庫（千代田区丸ノ内二の三）の採用試験が行われたとき、女子高校生の身体検査で婦人科まで診察、いくら採用試験が厳重だといってもこれでは人権じゅうりんだ」と感じやすい年ごろの女学生間に大きなショックをあたえたという事件がおこり、高校生の就職シーズンに暗いカゲを投げかけている。

問題の農林中央金庫では来春卒業する都内の高校生の中から十五名を採用するためさる七日第一次の筆記試験を行った。これに各校から人選された生徒三百名が応募したが、第一次の結果五十名が残り引続いて九、十日の二日間同金庫内医務室で身体検査が行われた。この中で一ツ橋高校三年二組山田芳子さん(一七)＝仮名＝（品川区荏原町）が担当の医師関根孫治氏(三七)に検査をうけたとき、ほとんど下半身を全裸に近い姿にされ、下腹部を診察された。身体検査は主に胸部疾患を診るものとばかり思っていた山田さんは恥しさの余り拒否の態度を示すと関根氏は『この就職難に、こんなことぐらいは我慢するんだ』と暴言をはきそのまま診察を続けたという。屈辱をうけた山田さんは逃げるようにしてすぐ学校にもどり『身体検査ってみなとこもあんなことをするのか知ら、ひどいワ…』と同じ組の友達に泣いて訴えた。このことが友達の話で外部にひろまり一父兄は『受験生徒の心理の弱身につけこんだ悪質なイタズラだ』と憤慨、また驚いた学校側では、もし事実であれば採用、不採用などは問題外で農林中金に抗議するといっている。

一方、問題をおこした中央金庫でも事件の調査に乗りだしているが、当の関根医師は身体検査のため臨時に済生会病院内科から派遣されたもので、医務室を指導監督する庶務部は関根医師の人物、素行については全然知らないという無責任な状態にあった。また医務室付の看護婦は『身体検査は一人ずつ交替に診察室に入ってうけるし、私たちも立会わなかったのでそんなことには気がつかなかった』といっている。人事部の採用試験係は『婦人科まで検査するような指示はしておらず、たとえ医師が検査に慎重であってもそれは行過ぎだ』と試験方針を話している。

芳子さんの母ときさんの話 子供が身体検査の日は興奮して帰ったので聞きただしましたが、昔と違い今の身体検査は厳重なのでしょうか、この年ごろは感じやすいのでビックリしたのだと思います。

そんな覚えはない

関根医師の話 その日二十人ぐらいの生徒を診察したが拒否した生徒は一人もいなかった、モチロン婦人科まで診た覚えはない。

御宴会は銀座新宿オリンピックで (56)6564

NOチップ社交場 神田駅前 サロン松

少女を三人で手ごめ

やっと逃れてまた別口 狼五人男を検挙

淀橋署では十五日朝までに十五才の少女を一晩中自宅にとじこめた上暴行を加えた豊島区池袋一の九二田尻方工員川住亮(二三)同番地店員横山正(二〇)渋谷区千駄ケ谷五の九八二自称明大生榊山正蔵(二〇)この三人を婦女暴行、不法監禁の疑いで、また川住方から逃げ出した同少女を更に暴行した上新宿の青線業者に売りとばした新宿区柏木二の四六七店員御園穂澄(二五)を婦女暴行、職安法違反の疑いで、また同少女を雇い入れ売春を強要暴利を得ていた同区歌舞伎町八五四飲食店『見辺』経営者見辺緑太郎(三六)を職安法、児童福祉法違反の疑いでそれぞれ検挙した。

調べでは川住、横山、榊山の三人は池袋付近の不良で、さる七月十二日夕方、中央区銀座に勤めている友人を訪ねての帰り、終電車に乗って国電池袋駅まで乗りすごし自宅に帰れなくなって困っていた世田谷区松原町のトビ職の長女A子さん(一五)を池袋駅付近で見つけ『家に帰れないなら俺の家に泊めてやる』と三人で川住の室にさそい、翌十三日午前六時ごろまで閉じこめて暴行を加えた疑い。

また御園は同月十六日午前一時ごろ、川住ら三人に暴行されて自宅に帰れず、新宿の簡易旅館を転々としていた同少女を新宿区角筈一丁目都電終点付近で見つけ『職も世話してやる、安心して俺の家に来い』とだまし自宅につれ込み暴行を加え同月二十八日まで自宅に閉じこめ『いい働き口が見つかった』と見辺の店に手数料二万円で売りとばした疑い。同少女は今春新制中学を卒業したばかりで、見辺は少女を雇い入れた夜から売春を強要、多額の暴利を稼いでいたもの。

女工を暴行、売飛ばす

浅草の不良 遊興費稼ぎに

淀橋署では十五日朝茨城県真壁郡河内村舟生無職竹内敬吉(二二)を婦女暴行、職安法違反の疑いで検挙した。調べでは竹内は去月二十一日浅草松屋のダンスホールでマンボを練習していた足立区栗原町の女工三井八百子さん(二二)＝仮名＝と知合い『一緒に帰ろう』と欺してタクシーで台東区浅草山谷の簡易旅館朝日旅館に連込み翌二十二日午前二時ごろまでの間鍵をかけた一室に監禁、暴行を加えた上さらに二十三日友達の不良某の仲介で八百子さんを茨城県下妻市のもぐり売春宿に売り飛ばし豪遊させてもらっていたもので、同署では八百子さんを青線宿に紹介した男と青線業者を調べている。

竹内は浅草松屋のダンスホールを根城とする不良で同様手口で遊興費をかせいで遊び歩く仲間が数名いると自供しているので追及している。

賀屋氏ら17日釈放

中央再生保護審査会では十五日仮出所を許された巣鴨プリズンのA級戦犯の元蔵相賀屋興宣(六六)＝世田谷区代田一の七八八、元企画院総裁鈴木貞一(六六)＝世田谷区代田二の一〇五八、元陸軍大佐橋本欣五郎(六五)＝千代田区一番町四の二＝の三氏について十七日午前十時釈放する手続を完了した。

芸者マンボ

さんご存知ありませんの、ノーエマン

○…おへその下あたりにつけている小さい太鼓がポンポンと軽い音を立てて鳴ると腰の動揺が巧みに手伝って、その音響が秋の豊年太鼓のように四畳半一ぱいに拡がり、旦那衆の眉毛が思わず八字型にダラリ下る。『いやあ一気に入ったネ、面白い踊りだ、なんていうんだい…』『マァ—○ボ、またの名を芸者マンボというのですよ、ホッホッホ…』姥ざくら芸者がそう説明して笑った。マンボ流行の波に乗ってお座敷にもという次第だが、ヘーイとか、ウーなんてわめかず、うならず、専ら三味と太鼓でしゃなりしゃなりの四畳半調がこの踊りのミソであり特異点だと仰有る。

○…だからミー、ハーの兄んちゃんにはぴったりこない。逆に旦那族にはこれまでの踊りと多少趣向が変っているのでイタダケルと喜ばれるわけ。そこで旦那族に"芸者マンボお気に召した"の弁をきいてみる。『腰の乱れか裾の乱れか踊る手拍子足拍子—そういったところがなんともいえんね。それに合わせてポンポンとお相撲さんじゃァないが腹太鼓がなり"イヤーホイ"とくるんだから、こちらがホイホイの声につられて陶然となる。MAMBOの魅力はアバン、アプレを問わずおそろしいもんだよ』

【写真は大塚三業ノーエマンボ】

秋色彩点 ④

これは送り狼

女給を連れ込み暴行

十五日午前一時ごろ台東区浅草田島町六五キャバレー"日輪"経営者小林健次氏＝方女給N子さん(二九)が同区浅草千束町の自宅に帰る途中浅草松竹座横付近で一、二度店にあらわれ顔見知りの男に『家まで送ってやる』と誘われタクシーに乗ったところ、男は同区山谷四の一おきつ荘旅館＝経営者楠田このさん＝方二階十二号室に連れ込み悲鳴をあげて逃げようとするN子さんに布団をかぶせ馬乗りになって『ここは俺のなわ張りだ。いまさら騒いでも駄目だ。いうことを聞け』と抵抗するN子さんをおさえつけ左手首右腿などに全治一週間の傷を負わせさらに暴行を加えたと浅草署に届出た。同署で間もなく台東区中根岸九六製紙原料商斎藤敏雄(三四)を暴行傷害現行犯で逮捕した。

"子供の命貰うぞ"

笠置さん脅迫男捕わる

世田谷署では十五日朝品川区二葉町五の四八一無職前科一犯横田武夫(三二)を脅迫の疑で逮捕した。調べでは横田はさる四月ごろ世田谷区弦巻町一の一六歌手笠置シヅ子さん＝本名亀井静子さん(四一)＝に手紙や電話で数回にわたり『金をよこせ』と脅し同署に捕ったが八月出所後金に困って再び笠置さんを脅して金をとろうと十日以来数回にわたり『今度結婚するので資金五万円をよこせ、よこさぬと娘の命は保証しない、金を二十日朝東横線自由ケ丘駅前の公衆電話まで持ってこい』という内容の脅迫状を出したが、笠置さんの届出で同署で筆跡鑑定した結果横田の犯行と判り逮捕されたもの。

安井提案無視 砂川交渉行悩み

【砂川発】戦術転換岐路に立つ砂川町では十五日朝八時半から反対同盟支援労組幹部、総評久保田弁護士、山川左社都議らが阿豆佐味天神の闘争本部に集り対策を協議したが、条件闘争に切換えなどの議題はまったくのぼらず、きのう安井都知事が提示した三項目につき宮崎町長が十五日正午までに回答するとの約束については、反対派の圧力で席上宮崎町長は都知事と約束したことはないと言明安井提案は無視された。このためほぐれかけた砂川問題はまた行き悩みの形となった。

首相、地元代表との面会を拒否

砂川町婦人会長砂川チヨさんら婦人代表五名と地元四番、五番地区代表五名は、軽井沢の鳩山首相に基地拡張反対陳情のため左社山花、右社平岡議員らにつきそわれ、十五日早朝軽井沢に着いたが、正午までに鳩山首相は面会を拒否している。

老人の日

動物園では老獣の日

○…人間サマの"老人の日"だけでは不公平だと十五日上野動物園では老獣、老鳥?の日を催した。動物の"大老"を代表したのが昭和七年に来園した"しし尾猿"と、同八年に来たコンドルで、何れも雄だが、人間にすれば九十才というご老体ぶり。

○…しし尾猿は昨年九月若いお嫁さんを貰って若さをしのぐカクシャクぶり。同じく園内の長老福田元飼育課長からバナナやリンゴ、馬肉など大好物のごちそうを貰い至極ご満悦だった

【写真は上野動物園でご馳走を貰うしし尾猿】

患者装う居直り強盗

十五日午前零時ごろ大田区大森三の三〇医師杉崎勇さん(五九)方にいずれも四十才ぐらい、白ワイシャツ姿の男が黒背広を着た男を抱き『急病人だから診察してもらいたい』とあがり込み、診察室に通ると二人とも強盗に早変り、ジャックナイフで杉崎さんを脅したが、隣室にいた妻育さん(五二)が騒いだため賊は何も盗らずに逃走した。大森署で緊急警戒中現場付近をうろついていた犯人の一人住所不定無職荻原勝矢(二九)を逮捕した。

三人組に殴られ重傷

十四日午前零時二十分ごろ目黒区原町一二五四某新聞社事業部勤務亀井俊正さん(二七)は妻と一緒に外出、近くの飲食店前までくると与太者風の男三人にインネンをつけられケンカとなり、袋だたきにされて顔に全治二週間の傷を負った。碑文谷署で間もなく同町一四〇二今井機械製作所工員寮内白井幸三郎(二五)海老原俊(二四)岩田敏光(二〇)の三人を逮捕した。

空巣少年四人組補導

恵まれぬ家庭、ゆがんだ生活

蒲田署では十五日朝までに大田区内で四十三件の窃盗を働いていた小、中学生ばかりの窃盗グループ大田区羽田二の三二四少年A(一三)＝中学一年＝同区糀谷一の一八七B(一二)＝小学六年＝同町一三八一C(九)＝小学三年同区久ケ原八七D(一三)＝小学五年中退＝の四人を補導した。

調べでは四少年はいずれも恵まれない家庭環境から不良化した者ばかりで、Aは生後間もなく父に死別、養父を迎えたが折合が悪く、母親は家出した。Bは三才で母親に死なれて継母に育てられた。Cは商売に失敗した父親が借金で夜逃げしたため転校手続もできず学校を休むうちに不良化、Dの父親は昨年一月ごろ情婦を連れて宮城県へ家出するなど、ほとんどが父母の愛情に見放された家庭に育つうちに次々に知合い、Aが主犯となり盗みを働くようになった。四人は五日午前九時ごろ大田区西六郷一の五会社員田中敬介さん方に家人不在中玄関のガラス戸を破って侵入、現金一万円を盗んだのをはじめ主として現金ばかりを狙い区内の住宅街を専門に便所の掃出口や台所の高窓をこわすといった手口で六月から四十三件現金十万円と、腕時計など十二点(二万三千円相当)の空巣を働いた。少年たちは"貧乏人は可哀想、大邸宅は現金を置いてないと中流家庭を狙ったといっており、同区内の都営アパートの屋上や空地で野宿、盗んだ金は映画や飲食に使っていたが、中でもDは『宮城県に家出した父親に逢いに行きたい』といって千円の貯金をしていた。

ふし穴

◇…美人は夜つくられるというが、これはその逆、昼間つくられる話。——十年ぶりに復活した宝塚ホテル＝社長南善三郎氏＝経営のダンスホール宝塚会館では欧州、殊にパリで流行の『美人教室』をわが国にもと着眼、昼間使用しないダンスホールをさしあたりこの美人教室にすることになった。それによると八頭身とまではチョイ無理かも知れないが、五頭身の彼女を六頭身?位まではする自信があるというから人間アメ細工時代というわけ。パリ・ベラックスドンナでは六ヵ月この教室に通うと、ヒヤダルのように肥っていても四貫匁は軽く減り背の低いドングリ娘は二、三寸は高くさせる機械が設備されており、このほか隆鼻術はもち論、新しい化粧法とか洋服の着こなし方どうしたら殿方に惚れられるかなどまであちらでは研究されており、宝塚会館はそっくりそのままをいただこうと目下設計が進められている。(大阪発)

◇…アンマ椅子というのが浅草界隈二、三のお風呂屋にお目見得した。一日の疲れをお風呂につかり湯上りのスッキリした気分を更にアンマでというのがこの機械の狙い。十円硬貨をチリンと入れて椅子に座るとゴムマリで出来た拳大の二つの玉がコツコツと背後肩の辺を電気仕掛で軽快に叩いてくれる。うっとり気持はいいが三分間たつと自動的に電気が切れてザ・エンド。この機械据付は三万九千円とお値段が張るので首をひねられている。

貞操帯の進歩?

◇…貞操帯は十六世紀のころ十字軍騎士が、西アジア方面へ遠征に出かけた時代、愛妻に留守中浮気をされては大変と貞操帯を腰部にやって鍵をかけ安心?して出かけたもの。パリ・クリューニ博物館に現在秘蔵されているというが、昨十四日浮気封じだと称して妻を手術し去勢?させた男が話題となっている。川崎市川中島一〇〇岩本四郎さんはヤキモチが昂じたため内妻の武山勝子さんを婦人科医院に入院させ子宮の辺を手術して中性化し、勝子さんから離婚請求と人権侵害で横浜家裁に訴えられた。医学がすすむと貞操帯など必要なく、十字軍ナイトも時代は変ったものだと地下でクシャミをしていることでござろう。(青)

御存じですか? 朝日グラフ九・一四号掲載! 麗人の集まる話題の店、昼11→5時 撮影純喫茶 珈琲(手札写真付)100円 ○サービス喫茶サロン 夜5→11時、麦酒(大)200円珈琲80円 近代乙女の超サービス!平均年齢20才 ニュー花壇 新宿西口荻窪行都電停前 天龍会館地階 (37)2820

東銀座で三重衝突

十五日朝九時十分ごろ中央区東銀座七の五先で新橋方面から築地方面に向って走ってきた神奈川県厚木市七沢二の九九山口商事所有のトラック＝赤塚剣一運転手(二四)＝が道路の右側に出たため反対側からきた横浜市鶴見区下野毛町三の九一高雄商会のトラック＝篠原英次運転手＝に正面衝突、さらに高雄商店のトラックの後方からきた品川区大井鮫洲町二二奥村清さんのオート三輪がトラックの後方に追突、三重衝突となり高雄商会のトラックの助手台にいた新関一さんと武田慎一さん(二九)の二人は顔面に全治三ヵ月の重傷を負ったほか両方のトラックに乗っていた五名がそれぞれ全治二、三週間の傷を負った。築地署の調べでは赤塚が前からきた車をさけようとしてハンドルを切りそこなったものらしい。

輪タクはねられる

十四日夜十一時四十分ごろ杉並区馬橋四の四八二輪タク屋佐野良人さん(六五)は中野区野方町二の一六一七会社員田島満人さん(五四)を乗せ同町二の二六五先を走っていたところ後からきた中型タクシーにはねられ車は大破、二人とも全治一週間の傷を負った。タクシーはそのまま逃走したので野方署で捜査中。

あすのスポーツ ▽プロ野球『パ』大映対東映(七時後楽園)毎日対西鉄(六時半川崎)▽庭球毎日トーナメント大会最終日(十一時パレス)▽ボクシング チャンピオン・スカウトリーグ大上対金平ほか(六時半山口ホール)▽女子野球 三共対岡田、Aワン対坂口(零時半新宿東京生命)▽競馬 大井最終日(零時半大井)

独眼灯

○…"有史以来の大豊作"のあおりで、いつもなら端境期の七八月は首を長くして配給米を待つのだが、豊作が禍?して辞退者が激増、お米屋さんが悲鳴をあげている。

○…みちのく青森では昨年十一月からことし八月まで辞退量はなんと五千五百石…大豊作予想で農家が手持米を急いで供出したほか、どっとヤミ市場に売り出し、ヤミ値が九十円—百円(生産地)に暴落し、津軽の穀倉地帯は受配者の約三割が辞退し、こんど収穫期にはいるとますますふえるとみられ、豊作を祝ってよいやら、[illegible]んでよいやら……と複雑な表情。

アイススケート場店開き

○…メッキリ秋らしくなった十五日午前九時半から後楽園アイス・パレスで恒例のスケート場開きが行われた。開場とともに待ちきれずに行列をつくっていたスケーターたちは、われ先にと氷盤へかけこんだ。

○…雨のため例年より出足は鈍かったが、新装なった銀盤上で久しぶりに滑ったり、転んだり、なかにはマンボ調の氷上乱舞?までとびだしてにぎやかなアイス・スポーツの幕開きだった。

【写真はアイス・パレスのスケート場開き】

エムさん 石川進介 286

続 情炎の千代田城 (240)

岩崎栄　寺本忠雄画

毒酒の甘さ（一）

公儀の金蔵に、たった二十万両足らずというのに、勘定奉行荻原重秀は、去年のあの大奥改築のことだけで、またまた六十万両ばかり私腹を肥やしていた。

『千両箱に目もくれぬ女でござりますから』

『万両ならば、どうじゃ』

『まず、万でございましょうな。なにしろ三千五、六百石という知行取りの大名格でございますから』

『よし、千両箱を十箱だ。贈れ、贈れ。いずれにしても絵島殿のおかげで、再び浮かび上れたわしじゃ。何もかも絵島様、絵島様じゃ。今度も大きに利用せねばならぬ婦人じゃ。ドンドン持ち込んでおけ』

重秀と、その腹心の半六である。交竹院を介して、駿河台の絵島の私邸に、またしても贈賄して来た半六が、その日も暮れて、漸く自分の体になったとき、交竹院からの手紙だった。

それと、あからさまにては無之候えども絵島様には貴殿に何か、お心をひかれ居らるるようすに見受け申候間、明日午過ぎの刻限に、なにとぞ拙宅までお出向きこれありたく右御願い申上候　交竹院

手紙の内容である。独り肯いて、これを無雑作に手文庫へ押し込んだのであったが、その翌日になり、午過ぎの刻限となっても、半六は、まるで忘れはてたように、一こうに出かけようとはしなかった。

胸に一もつを持っているのだ。絵島にはその後、お礼のために二度会っている。最初のときにチラリと感じたことが、二度目には的確に、やっぱりそうであったか！と胸に来た。だから三度目のときには、礼を失さないぎりぎりのところで、わざとソッケなくあしらって来た。

そして今日の四度目である。わざと遅刻して、待たせて、焦らして、あの権式高い、男まさりの才女の心理に現われてくる反応を見てみようとの肚なのだ。由来、大物の女をこなす色ごと師の常套手段ではあるが、自我に強く、誇りの高い女であればあるほど、この手には必ずはまり込んで行くものなのだ。

ところで絵島はこの日、早朝に城を出た。略式ではあるが、これは左京の方の代参として、浅草の高林寺に墓参するのだ。

そのことを知って、交竹院は前の日に、この絵島にも、チャンと打つ手は忘れなかった。

『明日の御代参御帰途には、是非とも拙宅にお立ち寄り願わしゅう存じます。お引立にあずかりまして、新築の住まいも落成致しましたこと故、先ず、何はおいてもあなたさまの御立寄りを願わしく、ちょうど長井半六殿にも、午すこし前にまいられる用事もござれば、ご一緒に御昼食を差上げたく存じますれば……』

そんなふうに言って置いたのだ。さてその日、絵島は浅草からの駕籠に揺られながら、遠い昔の娘時代を思い出すよろこびに心を躍らせていた。十四の年に大奥奉公に上がって十五、十六の春、許婚の間宮来之助とはじめて体を契り合ったのであるが、それからの、何度かの宿下りには、いつもしめし合せて、白山の出会い茶屋に駕籠を急がせたものだったが、そのときの思い遥かな胸のトキメキと同じものが、三十女になった今日、またイキイキと血汐の中によみがえって来たのである。

――長井半六――あんな男がどうしたというのじゃ。惚れて居る――このわたしが――とんでもない。阿呆らしい。あんな陪臣ものに……なんでこの身が……。それなのに、なぜか胸が弾ずむ。長井半六のあのサカヤキの青い印象が……あの筋の通った鼻が――。

『なにをおろかなことを！』

中共に行く猿之助
大いに抱負を語る
責任にはり切る
前回（先代左団次渡欧）以上に充実した一行

先代左団次一行の訪欧公演（昭和三年）に次ぐ大歌舞伎の海外進出として、鳩山首相のお声がかりで中共行きが実現した猿之助劇団の一行六十一名（俳優十九名）は来る二十八日夜十一時四十分、羽田空港から晴れの鹿島立ちをすることになった。そこでいまや演劇界の話題を一身に集めている"時の人"市川猿之助を歌舞伎座の楽屋に訪ねて"芸能使節"の弁を大いに語ってもらった。

歌舞伎座の楽屋で語る市川猿之助

なにしろバタバタッと本決りになってから、きょうで一週間位しか経たないんだから……。鳩山さんが『行くのなら十月がいい』というので急に今月中にたつことになりました。それも十一日までは、二十九日に立つことになっていたが、先方でどうしても三十日の夜までに到着してくれというので、また二十八日に変りましたよ。これで行くと二十九日の朝八時に香港へ着いて、汽車で広東まで行き一泊、政府の飛行機で昼ごろ立って夜八時には北京へ着くという寸法になりますね。二十八日は歌舞伎座の千秋楽なんだから忙がしい。夜の最後の『お土砂』にでている荒次郎なんか、舞台が終るのが十時過ぎ、大急ぎで駆けつけて羽田で落合うことになっています。

◇……北京の秋が楽しみ……◇

――北京へは戦争中に一度行きましたね。

昭和十四年の春、慰問で中車、段四郎たちと北京、天津、済南、上海と回ったから十七年ぶりです。北京には五日間いた。北京飯店の裏の『錦水』という料理屋に泊った。戦争中だから殺バツだったが北京の春はよかった。こんどは秋の景色を見られるので旅行好きの私は楽しみだ。友達で各国を回ってきた人の話では十月の北京は世界でいちばんいいんですってね。私はいままでパリがいちばん好きだったが、その人もパリにいたことがあるから、それよりきっといいんでしょうね。だけど、こんどは六十何人と一緒だから、旅行の楽しみなんか吹っとんじゃう。

◇……からだの調子は上々……◇

――とにかく忙がしいですね。

左団次（先代）さんの時一緒に行ったのは段四郎と荒次郎で、あの時以上に充実していると荒次郎がいってたが、とに角みんな元気で張切っている。こっちは責任というか何ていうかタジタジとしていますがね。身体の方は主治医の佐藤さんに診てもらったが生理年令は十年以上若いから大丈夫といわれたしコンディションも上々だ。劇団の者はみんな連れて行きたかった。人員が制限されてるので残念だが、残ったものは松竹に出演させてもらうことにした。

◇……先方は『吃又』に期待……◇

――向うでやる芝居について。

『勧進帳』は初めから私も演りたいと思っていたんですが『吃又』はちょっと意外だった。地味な芝居ですからね。ところが向うの要人の中に日本で観た人がいて、これがいいといったんですね。そういわれて思いだしたのだが、東劇で『吃又』をやったとき、ジャパン・タイムスの記者が感心して、もしノーベル賞を歌舞伎作品がとるとしたら、『吃又』だろうといっていた。僕たちのがそうだというわけではないのだけどね。こんどの注文と思い合わせて考えたのだが、この主人公の片輪の絵描きの芸術魂が外国人に共感できるんでしょうな。そんな意味で意外な発見だった。

とにかく他の芝居にしても省略するのは絶対にいやだと思っているが、できない省略をさせられるのは気持が悪い。向うでやる劇場は東横ホール位の大きさで、観客は在外使臣、政府高官、模範国民といった人たちらしいが、一般の人に一幕物でも昼間見せたいと申入れたら、機会があったら宜しくとのことだった。こんどもぜいたくをいえば地方（ジカタ）も長唄に限られないでもっと増やしてやってみたかったのだが、とにかくこれが機会になって歌舞伎の海外進出に道が拓けてくれればうれしいと思っています。

特に日曜も公演
翫右衛門の骨折で本格的舞台に

――北京のほかにどこで公演しますか。

天津、上海と、広東は帰り道なので予定していますがね。それも北京公演が長びけば、日程が短かくなる。それから向うは日曜は芝居も休みなんですね。日曜でもやらせてくれといっておきましたよ。帰りは二十六日夜、広東を出発して翌日は香港で一泊、二十八日の昼香港をたって夜の八時ごろ羽田へ着く予定になっています。それが向うは面白いんですよ。十一月は歌舞伎座で『芸術祭』に出なければならぬので間に合わせてくれといったら、とにかく中共の国内でなら如何なる責任も持つが国境の香港から先は欠航してもこちらには責任はないからといってたそうです。

所作舞台や花道も中村翫右衛門君の骨折りで本格に近いものを作ってくれるというし、かつて来日した折に親しくなった梅蘭芳さんがいるから心強いですよ。きょうも家内と梅さんに何を土産に持っていこうと相談しているところですよ。

長すぎる『湖畔』
『かさね道成寺』は品よく纒る

藤間桂　新作舞踊・評

▽…第三回目の発表会だけにソツのない公演でようやく軌道に乗った形。新作の『湖畔』は三組の男女の組合せで変りばえはないが青山圭男、藤田繁、藤間秀豊らベテランの特出で性格描写になかなかと食下り、ある程度成功しているが、長過ぎた上に余韻が出ない。洋舞風な足のさばきがうまくいっていたと思う。

▽…『かさね道成寺』は累と道成寺と双面の三つを一緒にしたような珍らしい曲だが、これを町田嘉章、今藤長十郎らの新解釈で変化のある面白い趣向の舞台にしていた。桂の累の亡霊、柄のよく釣合った花柳寿撰のお姫様と多少平面的な演出で妻艶さを欠くが、品よくまとめていた。（寅）

藤間桂の『湖畔』

女優としてはまだこれから
クラーク・ゲーブルが好きな"ミス・日本"

チャンス到来 (20)

近藤美恵子（大映）

（イ）ヤリングがぶら下ってない。何となく安心した。その代り"ミス日本"[illegible]と気を[illegible]配もな[illegible]ーに包[illegible]ている。

クリスチャン・ディオール著するところの『私は流行を作る』なんて本があったっけなと思いながら、それ何の本？と訊ねたが『ウッフン』と笑って答えない。右の頰に片エクボができたチョイと失敬してタイトルを見たら何とベストセラーの『はだか随筆』"ミス日本"がどうした

本を読むとは大変頼もしい。著者の佐藤弘人先生もさぞご満悦だろう。『イトコがねえ、面白い本だから読んでご覧て貸してくれたのです。まだ読み始めたばかりなんですけど……』面白い？といったら、また『ウッフン』

（昨）年十二月大映に入社してさる四月に研究所を終えた。出演したのは、『娘の人生案内』（演出田中重雄）と現在撮影中の『誘拐魔』（演出水野治、新人）の二本。それでも『あの人、ミス日本だからいい役を貰うのよ』と撮影所では口さがない。『私は一と月遅れで辛かったんですけど、その上に試験なんかがあるとあなたはミス日本だから白紙で答案出しても怒られないわねえって、意地悪なことをいう人がいたわ』

名古屋の出身である。洋裁学校に行っていて、将来は洋裁の先生にでもなるつもりでいた。それを校長が彼女を呼んでミス日本に応募させたのである。名古屋以外はどこにも出たことのなかった彼女、それがアメリカへ渡り、ハリウッドに行ってパイパー・ローリーと記念写真を撮ったりした。以来運命はガラリと方向を変えた。しかしミス日本のタイトルだけでは生きて行けない。もはや一人前となったミス日本の先輩山本富士子のように『女優近藤美恵子として見て戴きたいわ』と立派な言葉が吐けるようになるには、彼女もこんど大変な苦労をすることだろう。

（目）下は仕事に関してまとまった意見など求める方がムリらしい。そこで好きな男性のタイプをきいたら『ウッフン』と例の含み笑いをして、ずっと明るい表情になった。正直でなかなか可愛らしい。『そうね、第一に背の高い人…』なるほど、ハイヒールをはくと六寸位になる。『それから男らしくて、色の白くない人でも真黒なのはいやだわ。オッホッホ。クセの悪いのは困るけど、お酒もタバコものまなくて、甘いものが好きだなんていやだなあ』これを具体的にいうと『風と共に去りぬ』クラーク・ゲーブルがステキな由。『でもあのチョビひげはきらいなの』キッスをするときくすぐったいから？『あーら、ウッフン』

おしゃべり横丁

ストリップの秋
バタフライの値がすっかり下った。
―衣蓑や

ダグラス・サーク監督ら来日

『戦いの歌』ロケハンの途次

『心のともしび』『異教徒の旗印』などの演出者ダグラス・サーク監督は、準備中の作品『戦いの歌』の京城ロケハンの途中、撮影隊長ギルバート・カーランド氏とともに十日夜ノースウエスト機で来日したが、直ちに京城におもむき、一週間現地視察の後十九日ごろふたたび来日、日本女優を出演させるため各方面と折衝することとなっている。

なお同映画は第二次大戦中航空隊員として勇名をはせ、後朝鮮戦線で活躍した一牧師の物語で、主演にはロックルハドソンかグレゴリー・ペックが予定されている。撮影開始は十月中旬か、または明年四月の予定。【写真は十日羽田着の一行、左からユニバーサル社極東支配人アーサー・G・ドイル氏、G・カーランド氏、サーク監督】

都々逸　小沢扇太郎選

約束の場所が違いはしないかしら と 迷い出させる待ち呆け　有楽町・小野 思夫

腹で泣いても男の意地が うんと承知の切れ話　赤坂・えんどう

貴郎が含んであたしにうつす 水は甘露の味がする　前橋・川端 文子

笑って済ませる些細な事も 妙に角立つ恋がたき　熊谷・エンゼル

奥様に取って代ろの野心はないが 三度に一度は来てほしい　浦和・尾迫 通夫

あの時二人に止め手がなけりゃ こうして生きてはいない筈　選者

はと笛

▽…舞台で人気のある小冠者空飛小助この十六日からの中村メイコ・ショウ『夢がほしいの』ではじめて国際劇場の舞台を踏むことになったが、SKDの南条名美がやはりこのショウに出るというのでいまからビクビクしている。

▽…というのはもうかなり古い話だが、大阪で柳沢真一と小助が同じホテルに泊っていたことがある。ある日よせばいいのに柳沢が小助をスッポリ袋に入れて風呂場へ置いて来た。そこがなんと女湯であったため、たまたま入って来たのが南条というわけ。見つかって散々叱られたので小助ほうほうの態で逃げ出したが、それ以来南条名美恐怖症にかかったというんだから、小助は案外気も小さいというお噂。【写真は空飛小助】